

(様式2)

## パブリックコメント実施結果報告書

2023（令和5）年4月13日

担当課	福祉保健課
担当者	三浦
連絡先	0857-26-7158（内線 8676）

パブリックコメントのテーマ：鳥取県障がい者、高齢者及び介護者等の孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない社会づくり条例(仮称)（案）の概要

### 1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
2(2)	3(3)	22(5)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	27(10)

### 2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)		
既に盛り込み済み	1	・産後うつは男女を問わない問題であり、「産後うつに陥る女性の存在」との記述は子育ては女性がすることというアンコンシャスバイアスになるのでは。
今後の検討課題	26	・本人の同意を得る際は、慎重かつ丁寧に、理解しやすい言葉で説明していただきたい。 ・障がい者の雇用促進に向け中小事業主認定制度の活用、「雇用ゼロ企業」に対し総合的な支援強化、スキル・キャリアの向上をはかる職業訓練や本人の希望を踏まえた就労支援の強化をお願いしたい。 ・頑張っても工賃が1日500円ではやる気も意欲も落ちる。工賃アップに、県の協力をお願いしたい。 ・妊産婦にも手を差し伸べて欲しい。産後ケアは市町村により生後4か月未満までしか利用できず、4か月以降は支援が無くなるのは酷。誰にも頼れない弱者は日々小さな命を守るため孤独と隣り合わせで必死に子育てをしている。もっと手厚く全ての県民に目を向けて寄り添って貰いたい。 ・コロナ禍の中で娘が生まれ、私も妻も県外出身のため実家の手が借りられず、仕事の関係上妻に育児を任せざるを得ない中、産後ケア施設の助けて妻は産後うつにならなかった。県や市に手厚くバックアップしていただきたい。 ・中部には入院が出来る精神科が1箇所しかなく、狭い地域で選択出来ないのは当事者にとって良くない環境で、一刻も早くこの点を改善してもらいたい。 ・地域福祉の要の民生委員・児童委員による社会福祉の増進をお願いしたい。なり手不足の課題はあるが、後継者の育成・確保も合わせ、県民みんなで支え合える社会づくりの取り組みをお願いしたい。
対応できない		
その他上記に分類 できないもの		
計	27	

### 3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表（担当課による）	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他 (研究会委員への報告)
		○			○